神戸大学大学院国際文化学研究科

令和4年度（2022年度） 博士課程前期課程入学試験　試験問題

専門科目

科目名	ページ
日本学	1-2
アジア・太平洋文化論	3-4
ヨーロッパ・アメリカ文化論	5-6
文化人類学	7-8
比較文明・比較文化論	-
国際関係・比較政治論	9-10
モダニティ論	-
先端社会論	11-12
芸術文化論	13-14
言語コミュニケーション	15-16
感性コミュニケーション	17-18
情報コミュニケーション	19-22
外国語教育システム論	23-24
外国語教育コンテンツ論	25-26

注意事項

著作権に対する配慮のため問題文を省略している場合があります。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　地域文化系

コース：　日本学

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
地域文化系領域日本学コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題１，２の解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題１
現在、日本の諸分野の研究をするうえで用いられる「資料」は、公文書や新聞、雑誌などの印刷物にとどまらず、音源や映像、証言なども含め、多様化・多言語化している。自身の研究で用いる「資料」の性質について、その長所（可能性）と短所（限界）をあげて論じなさい。

問題２
以下のキーワードから複数を選択したうえで、それらのキーワードを用いながら、テーマを自由に設定して論じなさい。

異文化交流　イメージ　空間　権力　祭祀　性文化　難民　ファシズム　ユーチューバー

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　地域文化系

コース：　アジア・太平洋文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
地域文化系領域アジア・太平洋文化論コース

（注）問題用紙２枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問１，２の解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題：次の文章を読んで、問１，問２にそれぞれ答えなさい。

（問題文省略）

（出典）齋藤純一「制度による自由／デモクラシーによる社会統合」齋藤純一編著『社会統合――自由の相互承認に向けて』岩波書店、2009 年、41-45 頁（一部改変有り）。

問１．　社会統合の主体としての「われわれ」を、「国民アイデンティティの共有」でなく、「制度の共有」に即してとらえた場合、どのような利点があると筆者は主張しているのか、簡潔に述べなさい。

問２．　あなたが研究しようとしている国や地域は、民主的な社会統合という観点からみて現在どのような状況にあり、いかなる課題を抱えているか、「アイデンティティの共有」および「制度の共有」という二つの概念を交えて考察、論述しなさい。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　地域文化系

コース：　ヨーロッパ・アメリカ文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
地域文化系領域ヨーロッパ・アメリカ文化論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙１枚，下書き用紙１枚
　　問題の解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題

近代以降のヨーロッパもしくは南北アメリカで活躍し、国際的な影響をもたらした人物を１人あげ、その歴史的、社会的、あるいは文化的な意義について論じなさい。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　異文化コミュニケーション系

コース：　文化人類学

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
異文化コミュニケーション系領域文化人類学コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　以下の文化人類学における用語（1）～（4）の意味について、簡潔に説明しなさい。また、(5)、（6）の研究者については、文化人類学の学史的展開を踏まえつつ、それぞれの研究の特徴について簡潔に説明しなさい。

(1) 狩猟採集社会（hunter-gatherer societies）
(2) 文化進化論（cultural evolution）
(3) トーテミズム(totemism)
(4) レヴィレート婚／ソロレート婚（levirate/sororate）
(5) ヴィクター・ターナー（Victor Turner）
(6) マルセル・モース（Marcel Mauss）

問題Ⅱ　身体と社会との関係性について、具体的事例をあげて人類学的観点から議論しなさい。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　異文化コミュニケーション系

コース：　国際関係・比較政治論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
異文化コミュニケーション系領域国際関係・比較政治論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　ある国や地域の民主主義の発展や後退において，政党が果たす役割や機能について具体的な事例をあげながら論じなさい。

問題Ⅱ　国際アクター（主権国家、非国家主体、国際機関）が国際紛争の解決や国際交渉において果たす役割について，上記のアクターのうちのいずれか１つを取り上げ，具体的な事例をあげながら論じなさい。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　現代文化システム系

コース：　先端社会論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
現代文化システム系先端社会論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙１枚，下書き用紙１枚
問題の解答は指定された解答用紙に記入すること

問題　下にあげた語の中から、A 群から 1 つ、B 群から 2 つの語を用いて、現代社会の問題点について論じなさい。解答用紙の解答文において、選択した語に下線を引きなさい。

A 群　子どもの貧困　安倍晋三　マルコム X　反ユダヤ主義　不法滞在
リベラル多文化主義　生理用品の無償配布　アフガニスタン女性
ウィシュマ・サンダマリ　夫婦別姓

B 群　脱埋め込み　生活世界の複数化　ディアスポラ　移民　国家主権
カルチャー・ウォー　SOGI　男性性（Masculinity）
強制移動　同性愛規範（Homonormativity）　階級　承認

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　現代文化システム系

コース：　芸術文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
現代文化システム系芸術文化論コース

（注）問題用紙２枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　以下の対談の文章を読み、下記の設問（１）、（２）に答えなさい。（解答用紙１枚）

（問題文省略）

＊出典：津田大介、平田オリザ『ニッポンの芸術のゆくえ』青幻舎、2021 年
（ただし、表記を変えた箇所、省略した箇所がある）

問（１）アートと「生の不条理」の関係について、「不条理」の意味をあなた自身の言葉で補いつつ、対談者たちの主張を 10 行程度でまとめなさい。

問（２）現代社会におけるアートと社会との関係についてあなた自身の考えるところを、具体例を挙げながら、15 行程度で述べなさい。

問題Ⅱ　グローバリゼーションの進む現代社会における芸術文化の「越境」のポジティヴな側面とネガティヴな側面について、あなたに関心のある芸術ジャンルを中心に、具体的な事例や作品を挙げて論じなさい。（解答用紙１枚）

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　言語情報コミュニケーション系

コース：　言語コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
言語情報コミュニケーション系言語コミュニケーションコース

（注）問題用紙１枚，解答用紙１枚，下書き用紙１枚
問１，問２の解答はそれぞれ指定された解答欄に記入すること

問題　次の文章を読み，あとの問１，問２に答えなさい。

（問題文省略）

出典:Vyvyan Evans 著，辻幸夫他訳(2021)『言語は本能か―現代言語学の通説を検証する』開拓社，pp. 95-96（一部改変）.

問１　言語が下線部のような働きをする言語使用の具体例をあげ，そのような言語使用がどのような結果ないし効果をもたらすか，説明しなさい。

問２　言語コミュニケーション分野の研究では，言語の持つ下線部のような働きについてどのように扱われているか，説明しなさい。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　言語情報コミュニケーション系

コース：　感性コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
言語情報コミュニケーション系感性コミュニケーションコース

（注）問題用紙２枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問１，問２の解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題　次の文章を読んで，下の問１，問２の両方に答えなさい。

（問題文省略）

Koenig, Melissa A. & Amanda Woodward. 2007. Word learning. In M. Gareth Gaskell (ed.), *The Oxford handbook of psycholinguistics*, Oxford: Oxford University Press. 617–626. p. 622 より一部改変.

問１　本文の内容を，350 字以内の日本語で要約しなさい。

問２　本文では，ヒトの子どもによる語彙の獲得について，二つの対立する観点が述べられている。そこで，あなたの研究領域に関して，同様の二つの観点が反映されていると考えられる具体的な事例を説明しなさい。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　言語情報コミュニケーション系

コース：　情報コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
言語情報コミュニケーション系情報コミュニケーションコース

（注）問題用紙３枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚

以下の**大問 A** から**大問 E** のうち **2 つ**を選択して解答しなさい。それぞれの解答用紙に１つずつ解答し、いずれの大問を解答したか分かるように、解答用紙の左上に、選択した大問の記号をはっきりと記述すること。

大問 A　第５世代移動通信システム（5G ： 5th Generation Mobile Communication System）の普及が世界各地で進んでいる。その主な要求条件として

(a) 超高速通信
(b) 超低遅延通信
(c) 多数同時接続

が挙げられている。これについて、以下の問 1〜問４に答えなさい。

問１　「高速通信」の「速度」は、飛行機や自動車などでいう速度とは意味が異なる。どのように異なるのか簡潔に説明しなさい。

問２　携帯端末と基地局（中継局）の間で超高速通信を実現するためには、現在（4G）の端末・基地局間の通信と比べて、設備面や技術面での工夫が必要となる。どのような工夫が必要か、簡潔に説明しなさい。

問３　超低遅延通信の実現方法のひとつとして、ショート TTI 技術(Short Transmission Time Interval)を用いてパケットサイズを小さくすることが考えられている。パケットサイズを小さくすると、なぜ遅延が少なくなるのか説明しなさい。また、このような超低遅延通信が適しているサービスの例を挙げ、超低遅延通信が適している理由を説明しなさい。

問４　多数同時接続が可能になることにより、IoT サービスの幅が広がると考えられている。どのようなサービスが可能になるか説明しなさい。

大問 B　以下の２つの意見について、問 1〜問３に答えなさい。

意見１　「SNS を見ていると〇〇党を支持している人の方がずっと多いのに、〇〇党の候補が選挙で勝てないのはおかしい。選挙で不正が行われたに決まっています。」

意見２　「〇〇に賛成している人は SNS 上で汚い言葉遣いや攻撃的な言動をする人ばかりで印象が悪いので、私は賛成したいと思えません。」

問１　意見１のような意見を持つことにつながる技術的・社会的背景について論じなさい。

問２　意見２のような意見を持つことにつながる技術的・社会的背景について論じなさい。

問３　意見１や意見２のような意見を持つ人がいることを踏まえ、情報技術およびアプリケーションデザインの観点から、より良いインターネット社会を実現する方法を論じなさい。

大問Ｃ　Web 情報システムとデータベースシステムに関する以下の説明を読み､問 1～問 3 に答えなさい。

コンテンツ管理システム（CMS：Content Management System）は Web サイトを構成するデジタルコンテンツを管理するシステムである。CMS の導入により、Web に関する専門知識や技能を持たない利用者も Web ページの作成・更新作業を簡便に行うことができる。

問１　CMS を構成する Web サーバとデータベース管理システムについて、それぞれの役割を簡潔に説明しなさい。

問２　Web ページのデータを保持するデータベースの属性集合を示し、それぞれの属性と Web ページの構成要素（タイトル，URL，ハイパーリンクなど）との対応を説明しなさい。

問３　CMS を用いて Web ページの新規作成・更新を行う際に、CMS がどのように動作するのか、その過程を説明しなさい。なお、説明の際に図やフローチャートなどを用いても構いません。

大問Ｄ　ラーニングマネジメントシステム（LMS：Learning Management System）を利用したオンライン授業では、反転授業やハイフレックス型授業などの多様な授業形態が可能となるだけではなく、テストの解答や成績データの蓄積が容易になるなどの特徴がある。多くの LMS には学習データを集計して分析し、フィードバックする機能が備わっている。以下はある学生グループがオンライン授業で英語、数学２科目のテストを受けた後、システムに保存された成績データである。このデータについて、以下の問 1～問 4 に答えなさい。

学生	英語	数学
A	75	68
B	70	75
C	83	68
D	85	65
E	65	82
F	79	71

問１　この学生グループにおいて、２科目の成績の最小値、第１四分位数、中央値、第３四分位数、最大値および平均値を求めなさい。また、平均値と中央値を比較したときの、２科目の成績の特徴を説

明しなさい。

問２　この２科目の成績の散布図を作成しなさい。また、作成した散布図を用いて、この２科目の関係を説明しなさい。

問３　問１の各値を教員にフィードバックする機能を新たに開発するとしよう。この２科目の成績データがすでにシステムに格納されているとしたとき、問１の各値を計算し、その結果をフィードバックする手順を、フローチャートを用いるなどして、分かりやすく示しなさい。

問４　問３で開発した機能を、独立したWebベースのアプリケーションとして実装したい。このアプリケーションを実現するためのソフトウェアの構成を考えなさい。また、それらのソフトウェアが互いにどのように連携するのか説明しなさい。説明のために図などを用いて構わない。

大問Ｅ　近年におけるデータサイエンスの流行には、機械学習に関する研究が進み、様々な手法が開発されたことが影響している。しかし、それだけではなく、機械学習に関わるコンピュータのソフトウェアとハードウェア両方の発展も大きく寄与している。これについて、以下の問1〜問５に答えなさい。

問１　データサイエンスで利用される手法のうち、機械学習に分類される手法と、機械学習以外の手法をそれぞれ１つずつ挙げ、どのような手法か簡潔に説明しなさい。

問２　機械学習には教師あり学習、教師なし学習、強化学習の３種類がある。それぞれについて、その特徴と、どういった場合にどういった目的で利用される手法か説明しなさい。

問３　「機械学習に関するコンピュータのソフトウェアの発展」の例を１つ挙げ、それがどのようにデータサイエンスの流行に影響したと考えられるのか説明しなさい。

問４　「機械学習に関するコンピュータのハードウェアの発展」の例を１つ挙げ、それがどのようにデータサイエンスの流行に影響したと考えられるのか説明しなさい。

問５　コンピュータを利用して収集できるデータの例を１つ挙げなさい。また、そのデータに対して問１で挙げた機械学習を適用することで、どのような知見が得られると期待できるのか説明しなさい。なお、すでにそのような適用例があっても構わない。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　外国語教育系

コース：　外国語教育システム論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
外国語教育系外国語教育システム論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　社会生活において「ことば」が果たす役割は何か。また，「母語」および「外国語」の教育が果たす役割は何か。あなたの考えを日本語または英語で論述しなさい。

問題Ⅱ　次の（１）～（７）の設問の中から２つ選び，日本語または英語で答えなさい。なお，解答にあたっては選択した設問の番号を解答用紙の（　　）の中に明記すること。解答の順序は問わない。

（１）　外国語ライティングの採点にはどのような方法があるか。いわゆるエッセイ（与えられたトピックについて複数のパラグラフを用いて意見を述べる文章）の場合を想定し，考えられる採点方法を２つ以上挙げ，それぞれの特徴を述べなさい。また，どのような状況ではどのような採点方法を用いるのが適切であるかについて，あなたの考えを述べなさい。

（２）　外国語習得において，文法の明示的学習(explicit learning)と暗示的学習(implicit learning)の果たす役割について，論述しなさい。

（３）　近年, YouTube などのインターネットコンテンツを利用して外国語を学習する人が増えているが，そのような方法による自律的学習方法の長所・短所について，具体例を挙げて論じなさい。

（４）　第二言語習得における「誤り（error)」にはどのようなものがあり，なぜ生じるのか，具体例を踏まえて説明しなさい。

（５）　第一外国語として英語を学んだ人がドイツ語やフランス語などを第二外国語として学ぶ際に，英語の知識がどのように影響すると考えられるか，具体的な例を挙げて説明しなさい。

（６）　文学作品の解釈方法について，複数あげて具体的に論じなさい。

（７）　言語類型論（linguistic typology）と対照言語学（contrastive linguistics）の違いについて論述しなさい。

令和４年度（2022 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験

専門科目　試験問題

領　域：　外国語教育系

コース：　外国語教育コンテンツ論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中，机の上に置けるものは，受験票，筆記用具（※筆箱等から出すこと），腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可），メガネのみです。
3. 専門科目の試験に，辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても，必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで，カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば，手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後３０分間は退室できません。
8. 試験開始３０分経過後は退室することができます。退出する場合には，解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお，解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和4年度（2022年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
外国語教育系外国語教育コンテンツ論コース

（注）問題用紙１枚，解答用紙２枚，下書き用紙１枚
問題Ⅰ，Ⅱの解答は，それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ
近年、外国語教育において、目標言語の文法形式と意味の両面に同時に注意を向けさせる教授法が注目を集めています。このような教授法に関して、過去の主要な第二言語習得理論や関連研究等を紹介しながら、その長所と短所をまとめ、あなたの意見を述べなさい。なお、論述にあたっては、解答用紙にある立論構成に従うこと。【日本語または英語で解答すること】

問題Ⅱ
中級レベルの外国語学習者を対象に、60 分の授業（全 15 回の 1 回分）を行う場合の授業計画案を次のテーマに即して作成しなさい。テーマは、リテリング（retelling）のように、目標言語の文章を読んだり聞いたりした後にその内容を第 3 者に伝える手法を活用したスピーキングの指導です。はじめに、当該授業計画案の目的・対象者・前提となっている授業理論や言語習得理論を明記した後、解答用紙の記載枠に従い、授業計画案を記入しなさい。【日本語で解答すること】